

(別紙)

### 審査基準

下表の基準に従って審査員が、企画提案書等について評価の視点をもとに評価したものを審査点(100点満点)とする。最終的に各審査員の審査点を合計して総合点を算出し、最高得点を得た者から順位を付けるものとする。ただし、順位決定を行う際に、同位の提案書が複数ある場合は、審査員全員の多数決により順位を決定する。

なお、審査員の1名以上が内容点の評価項目のうち1項目でも評価点2点未満とした場合(評価項目④及び⑤を除く)、又は審査点が40点未満の場合は失格とする。

計 100 点

評価項目		評価の視点	配点
取組の実現性	企画提案参加者の経営状況等	① ・会社規模、財務状況、スケジュール、実施体制等を含め提案された内容の実現が可能と判断できるか。 ・類似事業の実績があり、ノウハウを活かすことが期待できるか。	5点(評価点) ×2=10点
業務推進体制	本業務遂行のための体制	② ・プロジェクトチームの編成、人員、関連・協力会社等の体制は十分か。 ・スタートアップ企業やベンチャーキャピタル等とのネットワークを有するか。	5点(評価点) ×2=10点
企画提案内容	全体設計	③ ・提案が本委託業務の目的・趣旨を十分に理解した設計となっているか。 ・本県の特長を活かし、スタートアップ企業等への訴求力が高いコンセプトか。	5点(評価点) ×2=10点
	事業費	④ ・積算金額、内容は妥当か。 ・実績連動部分の金額、金額の配分は適切か。(総事業費に占める実績連動部分の金額の割合が高いほど高評価とする。) ・実績連動方式の内容は適切か。 ⑤ ・総事業費は安価であるか。 5点×応募者中の最低価格/応募者の提案価格	5点(評価点) ×1=5点  5点
	募集、PR、ターゲットアプローチ、ブランディング	⑥ ・東京圏や静岡県・愛知県をはじめ全国から多くのスタートアップ企業等を募るPRとなっているか。 ・「TRY!YAMANASHI!」をテーマに、本県がテストベッドの聖地化に向けた取り組みを推進していることを周知する企画・広報となっているか。 ・ネットワークを活かし、ターゲットに対して効果的なアプローチとなっているか。 ※「やまなし未来創造インフォメーションサイト」内に特設ページを作ることも可とする。 <a href="https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/">https://www.pref.yamanashi.jp/try_yamanashi/</a> ・ブランディングの企画提案は効果的に伝わる内容となっているか。	5点(評価点) ×2=10点
	審査会	⑦ ・外部有識者はスタートアップ企業等に知見のある者が提案されているか。 ・審査結果のメディアへのPRは効果的な企画・広報となっているか。	5点(評価点) ×2=10点
	実証実験ハンズオン支援	⑧ ・ハンズオン支援を行う体制は適切か。 ・個別メンタリングの方法や回数等が事業者の成長に結びつくようなハンズオン支援の内容として適切か。 ・事業実施期間のみならず、スタートアップ企業等の実証実験後の事業展開や山梨県内での社会実装を見据えた支援方法となっているか。	5点(評価点) ×2=10点
	支援体制の強化	⑨ ・県内企業等との関係性が構築され、支援コミュニティが強化されるような具体的な内容となっているか。	5点(評価点) ×2=10点
	社会実装支援	⑩ ・社会実装に向けた支援を行う体制は適正か。 ・支援メニューや手法が本県での本格的な事業展開に結びつくような内容として適切か。	5点(評価点) ×2=10点
	成果発表会	⑪ ・ベンチャーキャピタル、金融機関、協賛企業等の集客が見込めるか。 ・メディアへのPR、公開方法等、効果的な企画・広報か。	5点(評価点) ×2=10点